

## 1. 北条エリアにおける公立教育・保育施設の状況

### (1) 就学前教育・保育施設の利用状況

- ・少子化による人口減少の一方で、就学前教育・保育施設の利用率は上昇
- ・幼稚園においては保育所利用率の増加に伴い、相対的に利用減少が進む
- ・西部・南部地域と比較して、北部・東部地域における定員割れが顕著
- ・特に北条幼稚園において利用減少が著しく、現在の利用園児数は50名前後

#### 《北条保育所、北条幼稚園の利用状況》

施設名称	定員	H27	H28	H29	H30	H31	R02	充足率(%)
北条幼稚園	150	81	52	46	51	49	43	32.7
北条保育所	90	86	95	92	87	88	—	97.8
就学前人口		5,842	5,703	5,519	5,300	5,222		
幼稚園利用率		15.2	12.0	12.4	12.0	9.4%		

※令和2年度在籍園児数は、令和元年度10月7日時点の申込み件数に基づく推計

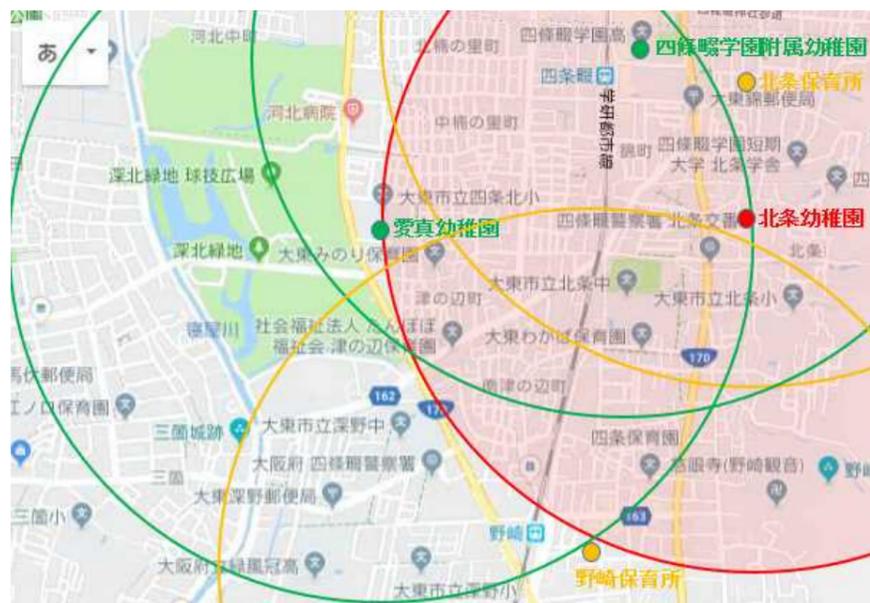
### (2) 平成27年度以降の民間幼稚園の動向

- ・平成27年度以降、保育の必要性のある子どもの受入れが可能な運営形態への移行が進む

方向性	施設数	施設名
認定こども園へ移行	5	愛真幼稚園、住道幼稚園、秀英幼稚園、朋来幼稚園、四條畷学園附属幼稚園
企業主導型保育所を併設	1	大東中央幼稚園

### (3) 市北部地域における施設の位置関係

- ・北条幼稚園より半径1km圏内に、公立保育施設1箇所（北条）、民間幼稚園1箇所（四條畷）、民間保育園及び認定こども園4箇所（四条、みのり、愛真、わかば）が点在



## 2. 今後の方向性について

### (1) 両施設の比較

施設名	定員	敷地面積	延床面積	クラス数
北条幼稚園	150	2,130.00	818.39	2 (4～5歳各1)
北条保育所	90	2,371.27	1,508.10	6 (0～5歳各1)

- ・北条保育所は定員200人の施設として運用を行った時期があり、面積的な余裕がある
- ・1号認定児童に対する給食の提供は、北条保育所の給食調理施設で基本的には対応可能
- ・北条幼稚園で勤務する幼稚園教諭はいずれも保育士資格を所有
- ・北条幼稚園において、平成25年度に国庫補助(3,850万円)の活用による大規模改修を実施

### (2) 統合のメリット

- ・保護者の就労等の状況に左右されない就学前教育・保育サービスの提供
- ・0～5歳の幅広い年齢の子どもが一体的に生活することによる社会性の獲得
- ・幼児教育・保育施設の一体化による運営コストの軽減

### 今後の方向性

- ・北条幼稚園を廃止し、北条保育所を幼保連携型認定こども園として整備
- ・令和4年4月に公立認定こども園として移行
- ・移行に伴い1号認定の利用年齢を3歳児以上に拡大

## 3. 統合のスケジュール・方向性

### (1) 統合までのスケジュール

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
政策決定	庁内検討	移行等手続	幼保連携型こども園移行
	関係機関協議	職場説明・検討	
		保護者説明・協議	